

カラー長編アニメーション映画 (63分)  
原作＝宮沢賢治「セロ弾きのゴーシュ」より

(韓)  
朗々と今夜もゴーシュのセロが  
鳴りわたれば  
めぐる星座もしばし歩みをとめ  
森羅万象はこだまをかえす  
——そこではけものが人と言葉を交し  
虫も草も風も  
いのちの歌をうたいはじめる

# セロ弾きのゴーシュ



●企画／村田耕一●監督／高畑勲●原画／才田俊次●美術／椋尾篁●音楽／間宮芳生

●製作 **オープロダクション**

〒167 杉並区天沼3-33-3カサローザ101号 ☎391-6986

●文部省選定●優秀映画鑑賞会推薦●日本PTA全国協議会推薦

●青少年映画審議会推選●日本映画ペンクラブ推薦●日本児童文学者協会推薦

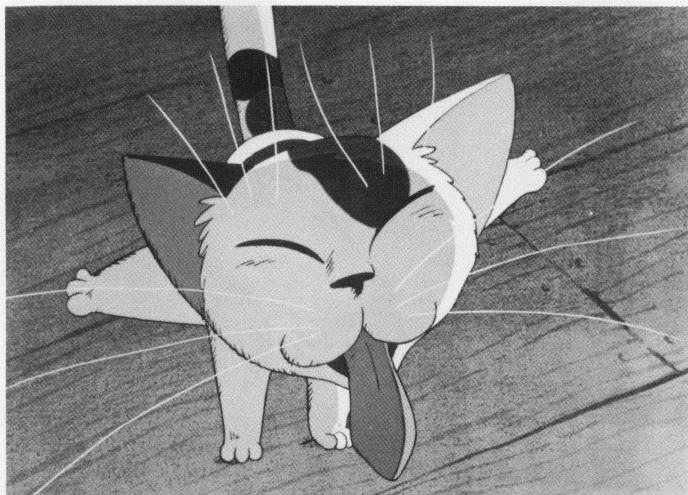
## ●かいせつ

●原作に宮沢賢治の古典的名作をあおぎ、メインスタッフには現在第一線で活躍しているベテランを揃え、アニメーション本来の手造りの味を生かすために極力分業を避けて、各自忙しい仕事の合間を縫いながら時間をかけてコッコツと作りつづけた。作画に直接たずさわらなかった者は、自主作品のメンバーが受注仕事から抜けた穴埋めを黙々と続けることでバックアップしました。制作プロデュースの担当者たちも全て作画家でこの方面には全くの素人、本職の作画に追われながらも作品の完成に夢を託し、勝手のちがう役割に日夜奔走したのです。

●キャラクターデザイン・レイアウト・作画は、「アルプスの少女ハイジ」の「未来少年コナン」などの原画を担当し、実力には定評のある才田俊次。原作からイメージしたどこか素朴でユーモラスな味のあるキャラクターを実に楽しく躍動させました。また、楽器演奏の描写という難題に、セロの奏法まで学び、見事にこれを表現しました。

脚色と演出には、長編「太陽の王子ホルスの大冒険」「パンダコパンダ」や、「アルプスの少女ハイジ」をはじめとする名作アニメーションを監督した高畑勲があたり、原作の内容と味わいを損うことなく、本格的な日本名作まんが映画を実現しました。

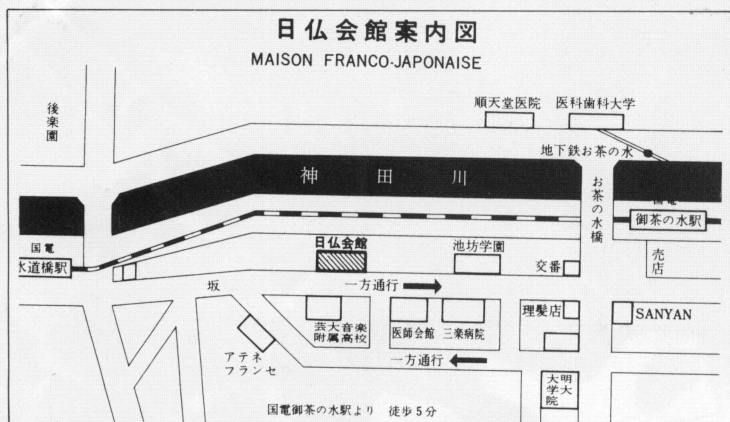
美術は、長編「銀河鉄道999」「母をたずねて三千里」などの美術監督をつとめ、世界の第一人者と目される椋尾篁。やわらかで気品のある日本の画調に、光と影の微妙な遠



近法を加えて独特の世界を創出し、今までなかった全く新しい境地をさりひらきました。

「インドの虎狩り」「愉快な馬車屋」などゴーシュが動物たちに弾いてみせる激しくまたユーモラスなセロの曲を作曲し、田園交響曲の編曲指揮にあたったのは、日本を代表する現代作曲家の一人宮宮芳生で、アニメーションではすでに「ホルスの大冒険」で素晴らしい歌と音楽をのこしています。

尚、タイトルバックでうたわれる「星めぐりのうた」は、宮沢賢治作詞作曲の佳篇、これがきっかけでもっと広くうたわれるようになってほしいものです。



## 新春完成記念初公開

1月23日(土)

開映●午後2時／4時／6時

1月24日(日)

開映●午後4時／6時

●会場／日仏会館ホール ※全自由席

●料金／当日＝大人1000円・小学生以下700円 前売＝大人900円・小学生以下600円  
(文芸坐シネブティック、シネプラザ・スペース50などで販売) 電話予約有＝前売料金

●主催／オー・プロダクション

●予約・問合せ／☎03・393・0344(アニドウ) ●協力／親子映画東京連絡会  
※並映短編＝〔霧につつまれたハリネズミ〕(10分) / 提供＝日本海映画(株)

国電・丸の内線「お茶の水駅」下車